

平成29年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 4 回	参加者数	24 名
テーマ	夏の生き物と植物		
実施日	平成29年7月2日	天候	曇り
場所	四日市少年自然の家		
コース	開会時刻（10：00） 体育館下 → 旧館の南 → さえずりの広場 → さえずりの小道 → 大門池の東 → 大門池広場 → 体育館下 解散時刻（12：00）		
指導内容など	指導内容など ・コースを回る前に、マムシ、スズメバチ、ヤマビルには十分気を付けるように話をしました。 ・雨が降りということもあり、ヤマビルがたくさんいましたが、途中何回か「ヒルチェック」をしてヤマビルを落としたので、吸血の被害に遭う人はいませんでした。 ・自由研究用にカブトムシのつがい、メダカ、貝殻を参加者に配布しました。それぞれたいへん喜んで持ち帰ってもらいました。		
参加者の声など（抜粋）	参加者の声など（抜粋） ・バッタやチョウがとれて、楽しかった。 ・シダを見分けるのは難しかったです。 ・自然とふれあうとてもよい機会でした。ヒルがいるのは危険に思いました。 ・細い小道（斜面）で、全体で動きを止めてしまうのは、小さい子どもがいる身としては少し危険かと思いました。 ・虫をいっぱい見つけてよかったです。 ・木の橋がくさっていて危なかった。		

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）	
植物	・一枚の葉のとらえ方 ・根茎葉 ・前葉体 ・胞子葉と栄養葉（シシガシラ、キジノオシダ、スギナ） ワラビ、ゼンマイ、コバノイシカグマ、ゲジゲジシダ、シシガシラ、ヤワラシダ、ヤマイヌワラビ、キジノオシダ、ウラジロ、トウゲシバ、クロモジ、サルトリイバラ、ササ（舟を作って水に浮かべる）

昆虫	シマアメンボ、ナキイナゴ、オオスジコガネ、ハサミムシ sp、オオシオカラトンボ、ヤマユガ幼虫、ハラビロトンボ、オニヤンマ、ウバタマムシ、ミヤマオビオオキノコムシ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、クロアゲハ、マツモムシ、クスサン（繭がら）、シロスジカミキリ産卵痕、ホソクビツユムシ、アワフキムシ、ムネアカオオアリ
野鳥	・鳥の出現は少なかった。 ヒヨドリ、メジロ、コゲラ、カイツブリ、ウグイス
地学	・奄芸層群の一部が大門池の南に見られた。数センチの礫層と火山灰のシルト層の互層でした。 ・その上部に高位段丘の礫が、小径にゴロゴロと出ているのが見られた。
クモ類	・夏休みの研究 ・採集の仕方 ・クモの解説 ・オオヒメグモと卵のう ・ギンメッキゴミグモ ・クサグモ ・ハリゲコモリグモと卵のう、イオウイロハシリグモ、コハナグモ、ザトウムシ類、オオシロカネグモ、チリイソウロウグモの卵のう、フクログモの仲間
その他	ヤマビル、ヤマナメクジ、スジエビ、メダカ、タゴガエル、ツチガエル、シカ（鳴き声）